

令和4年度 学校改善プラン 苫小牧市立北光小学校

学校教育目標 『21世紀を力強くともに生きぬく児童の育成』 <かしこく> <たたく> <たくましく>

目標	重点目標	具体的取組	関係分掌	子どもの目指す姿など	評価方法	R2→R3→R4目標
一人一人の学力の向上に 力づくで成 じ た	基礎基本の確実な 定着を目指す授業改 善	基礎学力の定着を目指す朝学習の実践	教務・学年	朝学習や朝読書にしっかり取り組んでいる	児童アンケート	92%→91%→ 93%
		ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の工夫	研修・学年	先生はわかりやすく勉強を教えてくれている	児童アンケート	99%→99%→100%
		学習規律の徹底、板書と一体化したノート指導	特別委員会	学習のきまりを守り、授業のノートもきちんと書いている	児童アンケート	94%→98%→ 98%
		「課題」と「まとめ」を明確にした授業(全教科)	学年・学級	先生はわかりやすく勉強を教えてくれている	児童アンケート	99%→99%→ 100%
		「焦点化・イメージ化・視覚化」に基づく授業改善の推進	学年・学級			
		ICTを効果的に活用した授業改善の推進 (ICT活用指導力の向上)	研修・学年	ICTを効果的に活用して授業を行っている	教職員アンケート	新規設定
		担任外教員を活用した専科制による指導 (外国語活動、外国語)	学年・学級	外国語の学習が好き (3年生以上)	児童アンケート	89% (R3) → 92%
	専科制及び一部教科担任制による指導の充実	一部教科担任制 (交換授業) による指導の充実 (5・6年生)	教務・学年	教科担任制により効果的に授業を行っている	教職員アンケート	新規設定
	特別支援教育の充実	子どもの状態像及びねらいを踏まえた計画的・組織的で持続可能な交流及び共同学習の推進	学年・学級	子どもの実態の応じた交流や共同学習を進めている	教職員アンケート	新規設定
	家庭学習の定着	「学年×10分＋10分」の宿題及び家庭学習の定着	特別委員会	宿題や家庭学習に取り組んでいる (学年×10＋10分)	児童アンケート	73%→88%→ 90%
1人1台端末 (タブレット) を活用した家庭学習の充実		教務	タブレット端末の持ち帰り学習を刻課的に行った。	教職員アンケート	新規設定	
読書活動の奨励		登校後や給食時間等の読書の充実	学級	家や学校で本をよく読んでいる	児童アンケート	77%→72%→ 75%
	図書委員会や学校司書と連携した学校図書館の効果的な活用	委員会・教務	貸出冊数		28冊→30冊→ 33冊	
豊かな人間性の育成 健康な心身の育成	道徳教育の充実	「考え、議論する」道徳の授業改善	研修・学年	道徳科の授業では話し合ったり意見を書いたりして考えを深めている	児童アンケート	88%→91%→ 92%
		情報モラル教育の推進 (各種資料や外部講師の活用)	教務・生徒指導・学年	情報発信に伴う責任など、情報モラルの教育に取り組んでいる	教職員アンケート	新規設定
	生徒指導の充実	集団生活のルール、マナーの徹底 (挨拶・言葉遣い・時間厳守・廊下歩行)	生徒指導	時間や学校のきまりを守り、挨拶もきちんとしている	児童アンケート	94%→88%→ 92%
		いじめや不登校等における児童支援体制の充実を図るため、SSWやSC、福利及び医療関係者などの専門家を活用したチームアプローチの体制を徹底	生徒指導	いじめなどしないで、みんなで仲良くしようと努力している	児童アンケート	95%→97%→ 97%
		「生徒指導の3機能を生かした集団づくり	学級			
	基本的生活習慣、運動習慣の改善	基本的な生活習慣の指導の徹底	保体・学級	早寝・早起き・朝ご飯がしっかりとできている	児童アンケート	83%→82%→ 84%
		環境整備とその活用	保体	児童が日常的に体力づくりができる環境づくり	教職員アンケート	新規設定
	体力の向上	体育科の授業改善の推進	保体・学級	進んで体力づくりに取り組んでいる	新体力テスト	全国平均以上の種目が過半数
		体育科の授業における体力向上の取組	保体・学級		児童アンケート	77%→83%→ 85%
	学校衛生管理マニュアルの徹底による感染症対策の徹底	感染症対策の共通理解の徹底 (教職員、児童、保護者)	校長・教頭	感染症対策について共通理解を図っている	教職員アンケート	新規設定
		感染状況を踏まえた学校衛生管理マニュアルに基づく教育活動の工夫改善	校長・教頭	衛生管理マニュアルに基づく教育活動を行っている	教職員アンケート	新規設定
		児童及び教職員の健康状態の把握の徹底	保体・学級	児童及び教職員の健康状態の把握の徹底	保護者アンケート	新規設定
家庭連携・地域との協働	家庭・地域と連携した望ましい教育環境づくり	「がんばり週間」の取組と家庭への啓発 (望ましい生活リズムの定着、家庭での学習習慣の定着)	特別委員会	がんばり週間などで毎日の生活をよくしようとしている	児童アンケート	81%→87%→ 88%
		家庭での読書 (うちどく)、親子読書の奨励 ・地域素材、地域人材等教育資源の積極的活用	教務 (図書)	家や学校で本をよく読んでいる	保護者アンケート	45%→43%→ 50%
	信頼される学校づくりの推進	家庭や地域への学校経営方針等の説明	校長・教頭	学校は、学校便りなどで積極的に情報を発信している	保護者アンケート	85%→88%→ 90%
		積極的な情報発信と公開における目的や対象者に即した情報発信媒体選択の工夫	校長・教頭			
	働き方改革の推進	「苫小牧ALL－9 (オールナイン)」による幼小中連携の推進	校長・教頭	「苫小牧ALL－9 (オールナイン)」による幼小中連携の推進を行っている	教職員アンケート	新規設定
		職務内容の精選とスリム化、勤務時間等に対する意識転換	校長・教頭	ICT (校務支援システム等) を活用した校務の効率化の徹底や外部人材の活用、コアチームによる働き方改革の推進を行っている	教職員アンケート	新規設定
ICT (校務支援システム等) を活用した校務の効率化の徹底、外部人材の活用						
	コアチーム (校務運営委員会代替) による働き方改革の推進					